| 学校番号 | 1007 |
|---|---|

# 令和８年度　外国語科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 外国語 | 論理・表現Ⅰ | 2 | 第１学年 | Harmony English Logic and Expression I |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・論理・表現Ⅰは、「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」という４技能のうち、特に「話す」力、「書く」力をつける授業です。そのために、使える語彙を増やすためのトレーニングやペア・ワーク、プレゼンテーション、エッセイライティングなど幅広い活動をします。
・英語の語彙や文法を、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習します。授業は「コミュニケーションの場」と捉え、積極的に発言しましょう。

## ２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

| 領域 | 聞くこと | 読むこと | 話すこと（やり取り） | 話すこと（発表） | 書くこと |
|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | ・決まった表現でゆっくりはっきりと話された日常的に必要なことがらや自分の身の回りのことについて、短い会話文についての内容を理解することができる。<br>・ゆっくりはっきり発話されれば、1 文程度をリピートすることができる。 | ・短いまとまりのある簡単な表現を使った英文を、複雑なところは時間をかけて読み、全体の要旨を理解し、大事な点を理解することができる。 | ・相手の話す内容を理解できない場合に、必要に応じて、聞き返したり、意味を確認したりすることができる。<br>・相手のサポート（ゆっくり話したり、繰り返したり、簡単な語句に言い換えるなど）があれば、ごく身近なトピックについて、簡単な語句や表現を使って質疑応答をすることができる。 | ・前もって準備した上で、日常的な事柄、好き嫌いや、できることできないこと、身の回りにあるものについての説明について基本的な語や表現を使って、複数の文で描写することができる。 | ・身近な話題に関して説明をし、自分の意見を、つなぎの語やフレーズを活用して、まとまりのある段落を書くことができる。それをいくつか書き、長い文章を構成することができる。 |

## ３ 評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a 知識・技能 | b 思考・判断・表現 | c 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 | ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 | ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 課<br>“題材名” | 領域 | 評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|
| 1学期 | LESSON 1<br>Meeting New People<br>自分のことを話す・相手のことをたずねる | 聞くこと | a:現在形・現在進行形の文法知識を理解したうえで、それらを用いた英文を正しく聞き取ることができる。<br>b:現在形・現在進行形を用いた英文を正しく聞き取り、文字に起こしたり、英文に関する質問に答えることができる。<br>c:スピーチや対話から，必要な情報を聞き取ろうとしたり，話し手の意図，概要や要点を把握しようとしたりしている。 | 授業内課題<br>授業内活動 |
| | | 読むこと | a:現在形・現在進行形の文法知識を理解したうえで、それらを用いた英文の意味理解が正しくできる。<br>b:現在形・現在進行形を用いた英文を読み、必要な情報や英文のニュアンスなどをつかむことができる。また、英文に関する問いに適切に答えることができる。<br>c:必要な情報を読み取ろうとしたり，話し手の意図，概要や要点を把握しようとしたりしている。 | 授業内課題<br>定期テスト |
| | | 話すこと<br>（やりとり） | a:現在形・現在進行形を適切に用いて，会話できる。<br>あいづちの表現を適切に用いて，会話を続けることができる。<br>事柄や話題について，内容を整理し，現在進行形などを用いて伝えたり，相手からの質問に答えたりできる。<br>b:モデル会話の人物になりきって，海外からの留学生を歓迎することができる。<br>c:グループになって自己紹介をし，ほかのメンバーの自己紹介を聞いて質問したり感想を伝えたりできる。 | ペア活動<br>スピーキングテスト |
| | | 話すこと<br>（発表） | a:現在形・現在進行形を適切に用いて，自分のことや身の回りのひとについて説明することができる。<br>b:新しいクラスメイトに知ってほしいことを整理して，自己紹介をすることができる。<br>c:自己紹介の冒頭・しめくくりでは，クラスメイトに対し，語りかけるようにあいさつを述べることができる。 | ワークシート<br>プレゼンテーション |
| | | 書くこと | a: 状態動詞・動作動詞の現在形を用いて，正しく英文を書くことができる。<br>頻度を表す副詞を適切な位置に配して，正しく英文を書くことができる。<br>b: 現在進行形が表す時制を正しく理解し，状況を表す英文を書くことができる。<br>c: be 動詞・一般動詞の現在形を用いて，自己紹介の原稿をつくることができる。 | 定期テスト<br>ワークシート |
| | LESSON 2<br>Last Weekend<br>休日にしたことを説明する | 聞くこと | a:過去形・過去進行形の文法知識を理解したうえで、それらを用いた英文を正しく聞き取ることができる。<br>b: 過去形・過去進行形を用いた英文を正しく聞き取り、文字に起こしたり、英文に関する質問に答えることができる。<br>c:スピーチや対話から，必要な情報を聞き取ろうとしたり，話し手の意図，概要や要点を把握しようとしたりしている。 | 授業内課題<br>授業内活動 |
| | | 読むこと | a: 過去形・過去進行形の文法知識を理解したうえで、それらを用いた英文の意味理解が正しくできる。<br>b:過去形・過去進行形を用いた英文を読み、必要な情報や英文のニュアンスなどをつかむことができる。また、英文に関する問いに適切に答えることができる。<br>c:必要な情報を読み取ろうとしたり，話し手の意図，概要や要点を把握しようとしたりしている。 | 授業内課題<br>定期テスト |
| | | 話すこと<br>（やりとり） | a: 過去形・過去進行形を適切に用いて，会話できる。<br>b: 実際にしたこと（事実）と，それをして思ったこと（感想）を区別して伝えることができる。<br>事柄や話題について，内容を整理し，過去形・過去進行形などを用いて伝えたり，相手からの質問に答えたりできる。<br>c: モデル会話の人物になりきって，週末にしたことを説明することができる。<br>ペアになって先週末にしたことについて話すことができる。 | ペア活動<br>スピーキングテスト |
| | | 話すこと<br>（発表） | a: 過去形・過去進行形を適切に用いて，最近したことについて説明することができる。<br>b:知ってほしいことを整理して，説明をすることができる。<br>c:クラスメイトに対し，語りかけるように述べることができる。 | ワークシート<br>プレゼンテーション |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 書くこと | a: 過去形を用いて，正しく英文を書くことができる。<br>過去進行形を用いて，正しく英文を書くことができる。<br>used to …を用いて，正しく英文を書くことができる。<br>b: 過去の表現を用いて，先週末したことを正しく書くことができる。<br>c: 学習したことを用いて、原稿を作り練習することができる。 | 定期テスト<br>ワークシート |
| 中間考査 | | | |
| LESSON 3<br>Weekend Plans　自分の予定を話す・相手の予定をたずねる | 聞くこと | a:未来の表現についての文法知識を理解したうえで、それらを用いた英文を正しく聞き取ることができる。<br>b: 未来の表現を用いた英文を正しく聞き取り、文字に起こしたり、英文に関する質問に答えることができる。<br>c:スピーチや対話から，必要な情報を聞き取ろうとしたり，話し手の意図，概要や要点を把握しようとしたりしている。 | 授業内課題<br>授業内活動 |
| | 読むこと | a: 未来の表現についての文法知識を理解したうえで、それらを用いた英文の意味理解が正しくできる。<br>b:未来の表現を用いた英文を読み、必要な情報や英文のニュアンスなどをつかむことができる。また、英文に関する問いに適切に答えることができる。<br>c:必要な情報を読み取ろうとしたり，話し手の意図，概要や要点を把握しようとしたりしている。 | 授業内課題<br>定期テスト |
| | 話すこと（やりとり） | a: 未来の表現を適切に用いて，会話できる。<br>相手の発言に対し，適切な疑問詞を用いて，くわしくたずねることができる。<br>b: 事柄や話題について，内容を整理し，未来の表現を用いて伝えたり，相手からの質問に答えたりできる。<br>c: モデル会話の人物になりきって，週末の予定について話すことができる。<br>ペアになって週末の予定について話すことができる。 | ペア活動<br>スピーキングテスト |
| | 話すこと（発表） | a: 未来の表現を適切に用いて，これからする予定のことについて説明することができる。<br>b:クラスメイトに知ってほしいことを整理して，説明をすることができる。<br>c:クラスメイトに対し，語りかけるように述べることができる。 | ワークシート<br>プレゼンテーション |
| | 書くこと | a: 〈will＋動詞の原形〉を用いて，正しく英文を書くことができる。<br>〈be going to＋動詞の原形〉を用いて，正しく英文を書くことができる。<br>when, if から始まる時や条件を表す副詞節の中で，未来のことを現在形を用いて書くことができる。<br>b: 未来の表現を用いて，週末の予定を正しく書くことができる。<br>c: 学習した内容を用いて原稿を作り練習できる。 | 定期テスト<br>ワークシート |
| LESSON 4<br>A School Trip　したことがあること・ないことについて話す | 聞くこと | a:現在完了についての文法知識を理解したうえで、それらを用いた英文を正しく聞き取ることができる。<br>b: 現在完了形を用いた英文を正しく聞き取り、文字に起こしたり、英文に関する質問に答えることができる。<br>c:スピーチや対話から，必要な情報を聞き取ろうとしたり，話し手の意図，概要や要点を把握しようとしたりしている。 | 授業内課題<br>授業内活動 |
| | 読むこと | a: 現在完了についての文法知識を理解したうえで、それらを用いた英文の意味理解が正しくできる。<br>b:現在完了を用いた英文を読み、必要な情報や英文のニュアンスなどをつかむことができる。また、英文に関する問いに適切に答えることができる。<br>c:必要な情報を読み取ろうとしたり，話し手の意図，概要や要点を把握しようとしたりしている。 | 授業内課題<br>定期テスト |
| | 話すこと（やりとり） | a: 現在完了形を適切に用いて，会話できる。<br>あるトピックに沿って，相手に質問を投げかけて，会話のきっかけをつくることができる。<br>b: 事柄や話題について，内容を整理し，現在完了形を用いて伝えたり，相手からの質問に答えたりできる。<br>c: モデル会話の人物になりきって，特別な経験について話すことができる。<br>ペアになって珍しい体験について話すことができる。 | ペア活動<br>スピーキングテスト |
| | 話すこと（発表） | a: 現在完了形を適切に用いて，完了したことや経験したこと，継続的にしていることについて説明することができる。<br>b:クラスメイトに知ってほしいことを整理して，説明をすることができる。 | ワークシート<br>プレゼンテーション |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | c:クラスメイトに対し，語りかけるように述べることができる。 | |
| | | 書くこと | a: 現在完了形を正しく用いて，完了したことやその結果について書くことができる。<br>現在完了形を正しく用いて，これまでに経験したことについて書くことができる。<br>現在完了形・現在完了進行形を正しく用いて，継続的にしていることについて書くことができる。<br>b: 現在完了形を用いて，珍しい体験について書くことができる。<br>c: 学習した内容を用いて原稿を作り練習できる。 | 定期テスト<br>ワークシート |
| | 期末考査 | | | |
| 2 学期 | LESSON 5 School Rules　してもよいこと・してはいけないことを伝える | 聞くこと | a:助動詞についての文法知識を理解したうえで、それらを用いた英文を正しく聞き取ることができる。<br>b: 助動詞を用いた英文を正しく聞き取り、文字に起こしたり、英文に関する質問に答えることができる。<br>c:スピーチや対話から，必要な情報を聞き取ろうとしたり，話し手の意図，概要や要点を把握しようとしたりしている。 | 授業内課題<br>授業内活動 |
| | | 読むこと | a: 助動詞についての文法知識を理解したうえで、それらを用いた英文の意味理解が正しくできる。<br>b:助動詞を用いた英文を読み、必要な情報や英文のニュアンスなどをつかむことができる。また、英文に関する問いに適切に答えることができる。<br>c:必要な情報を読み取ろうとしたり，話し手の意図，概要や要点を把握しようとしたりしている。 | 授業内課題<br>定期テスト |
| | | 話すこと（やりとり） | a: 助動詞を適切に用いて，会話できる。<br>誰かに対し，してもよいこと，してはいけないことを述べることができる。<br>b: 事柄や話題について，内容を整理し，助動詞を用いて伝えたり，相手からの質問に答えたりできる。<br>c: モデル会話の人物になりきって，してはいけないことについて話すことができる。<br>ペアになって決まったルールについて話すことができる。 | ペア活動<br>スピーキングテスト |
| | | 話すこと（発表） | a: 助動詞を適切に用いて，可能であることやしなければならないこと，依頼したいことについて説明することができる。<br>b:クラスメイトに知ってほしいことを整理して，説明をすることができる。<br>c:クラスメイトに対し，語りかけるように述べることができる。 | ワークシート<br>プレゼンテーション |
| | | 書くこと | a: 助動詞 can・be able to, may を用いて，可能であることや許可を与える英文を正しく書くことができる。<br>助動詞 must/have to/should を用いて，義務や必要を表す英文を正しく書くことができる。<br>b: Will you ...?を用いて,誰かに依頼する英文を正しく書くことができる。助動詞を用いて,規則について書くことができる。<br>c: 学習したことを用いて、原稿を作り練習することができる。 | 定期テスト<br>ワークシート |
| | LESSON 6 Are You All Right?　ある出来事について推測する | 聞くこと | a:助動詞についての文法知識を理解したうえで、それらを用いた英文を正しく聞き取ることができる。<br>b:助動詞を用いた英文を正しく聞き取り、文字に起こしたり、英文に関する質問に答えることができる。<br>c:スピーチや対話から，必要な情報を聞き取ろうとしたり，話し手の意図，概要や要点を把握しようとしたりしている。 | 授業内課題<br>授業内活動 |
| | | 読むこと | a: 助動詞についての文法知識を理解したうえで、それらを用いた英文の意味理解が正しくできる。<br>b:助動詞を用いた英文を読み、必要な情報や英文のニュアンスなどをつかむことができる。また、英文に関する問いに適切に答えることができる。<br>c:必要な情報を読み取ろうとしたり，話し手の意図，概要や要点を把握しようとしたりしている。 | 授業内課題<br>定期テスト |
| | | 話すこと（やりとり） | a: 助動詞を適切に用いて，会話できる。<br>ある出来事についての推測を述べることができる。<br>b: 事柄や話題について，内容を整理し，助動詞を用いて伝えたり，相手からの質問に答えたりできる。<br>c: モデル会話の人物になりきって，ある出来事の推測について話すことができる。 | ペア活動<br>スピーキングテスト |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | ペアになって忘れ物について電話でやりとりすることができる。 | |
| | | 話すこと（発表） | a: 助動詞を適切に用いて，可能性があることや推量,確信や推測,過去の出来事の推測について説明することができる。<br>b:クラスメイトに知ってほしいことを整理して，説明をすることができる。<br>c:クラスメイトに対し，語りかけるように述べることができる。 | ワークシート<br>プレゼンテーション |
| | | 書くこと | a: 助動詞 can・may を用いて,可能性があることや推量できることの英文を正しく書くことができる。<br>助動詞 must, should を用いて,確信していることや推測していることについての英文を正しく書くことができる。<br>b: 助動詞＋have＋過去分詞〉を用いて,過去のことを推測したり,過去にしなかったことへの後悔を英文で正しく書くことができる。助動詞を用いて,不思議なものについて推測して書くことができる。<br>c: 学習したことを用いて、原稿を作り練習することができる。 | 定期テスト<br>ワークシート |
| | 中間考査 | | | |
| | LESSON 7 Things Japanese さまざまなものを紹介する | 聞くこと | a:受動態についての文法知識を理解したうえで、それらを用いた英文を正しく聞き取ることができる。<br>b:受動態を用いた英文を正しく聞き取り、文字に起こしたり、英文に関する質問に答えることができる。<br>c:スピーチや対話から，必要な情報を聞き取ろうとしたり，話し手の意図，概要や要点を把握しようとしたりしている。 | 授業内課題<br>授業内活動 |
| | | 読むこと | a: 受動態についての文法知識を理解したうえで、それらを用いた英文の意味理解が正しくできる。<br>b:受動態を用いた英文を読み、必要な情報や英文のニュアンスなどをつかむことができる。また、英文に関する問いに適切に答えることができる。<br>c:必要な情報を読み取ろうとしたり，話し手の意図，概要や要点を把握しようとしたりしている。 | 授業内課題<br>定期テスト |
| | | 話すこと（やりとり） | a: 受動態を適切に用いて，会話できる。<br>相手がしてきたあるものについての質問に対し，素材や形など詳しく説明することができる。<br>b: 事柄や話題について，内容を整理し，受動態を用いて伝えたり，相手からの質問に答えたりできる。<br>c: モデル会話の人物になりきって，あるものの説明をすることができる。<br>ペアになって日本のものについて紹介する説明をすることができる。 | ペア活動<br>スピーキングテスト |
| | | 話すこと（発表） | a: 受動態を適切に用いて，だれに・何にされたのか，いつ・どこに～されるか，何かによって引き起こされる喜びや驚きについて話すことができる。<br>b:クラスメイトに知ってほしいことを整理して，説明をすることができる。<br>c:クラスメイトに対し，語りかけるように述べることができる。 | ワークシート<br>プレゼンテーション |
| | | 書くこと | a: 受動態〈be＋過去分詞〉を用いて英文を正しく書くことができる。<br>受動態の疑問文を用いて正しく書くことができる。<br>〈be＋過去分詞＋with/at/to/of＋もの・こと〉を用いて正しく書くことができる。<br>b: 受動態を用いて,日本のものについて書くことができる。<br>c: 学習したことを用いて、原稿を作り練習することができる。 | 定期テスト<br>ワークシート |
| | LESSON 8 Talking about Dreams これからしたいことについて話す | 聞くこと | a:不定詞についての文法知識を理解したうえで、それらを用いた英文を正しく聞き取ることができる。<br>b:不定詞を用いた英文を正しく聞き取り、文字に起こしたり、英文に関する質問に答えることができる。<br>c:スピーチや対話から，必要な情報を聞き取ろうとしたり，話し手の意図，概要や要点を把握しようとしたりしている。 | 授業内課題<br>授業内活動 |
| | | 読むこと | a: 不定詞についての文法知識を理解したうえで、それらを用いた英文の意味理解が正しくできる。<br>b:不定詞を用いた英文を読み、必要な情報や英文のニュアンスなどをつかむことができる。また、英文に関する問いに適切に答えることができる。<br>c:必要な情報を読み取ろうとしたり，話し手の意図，概要や要点を把握しようとしたりしている。 | 授業内課題<br>定期テスト |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 話すこと（やりとり） | a: 不定詞を適切に用いて，会話できる。<br>これから先のことや，したいと考えていることについて,伝えることができる。<br>b: 事柄や話題について，内容を整理し，助動詞を用いて伝えたり，相手からの質問に答えたりできる。<br>c: モデル会話の人物になりきって，将来の夢について話すことができる。<br>ペアになって将来の夢について説明することができる。 | ペア活動<br>スピーキングテスト |
| | | 話すこと（発表） | a: 不定詞を適切に用いて，「〜することは…だ」，「何をするか」「何をすべきか」，「〜しないこと」といった表現を使用しながら話すことができる。<br>b:クラスメイトに知ってほしいことを整理して，説明をすることができる。<br>c:クラスメイトに対し，語りかけるように述べることができる。 | ワークシート<br>プレゼンテーション |
| | | 書くこと | a: 不定詞（名詞用法）を用いて正しく書くことができる。<br>不定詞の主語・否定形を用いて正しく書くことができる。<br>b: 不定詞を用いて，将来の夢について書くことができる。<br>c: 学習したことを用いて、原稿を作り練習することができる。 | 定期テスト<br>ワークシート |
| | 期末考査 | | | |
| | LESSON 9<br>To Keep Fit<br>足りない情報を補う・説明を付け加える | 聞くこと | a:不定詞についての文法知識を理解したうえで、それらを用いた英文を正しく聞き取ることができる。<br>b:不定詞を用いた英文を正しく聞き取り、文字に起こしたり、英文に関する質問に答えることができる。<br>c:スピーチや対話から，必要な情報を聞き取ろうとしたり，話し手の意図，概要や要点を把握しようとしたりしている。 | 授業内課題<br>授業内活動 |
| | | 読むこと | a: 不定詞についての文法知識を理解したうえで、それらを用いた英文の意味理解が正しくできる。<br>b:不定詞を用いた英文を読み、必要な情報や英文のニュアンスなどをつかむことができる。また、英文に関する問いに適切に答えることができる。<br>c:必要な情報を読み取ろうとしたり，話し手の意図，概要や要点を把握しようとしたりしている。 | 授業内課題<br>定期テスト |
| | | 話すこと（やりとり） | a: 不定詞を適切に用いて，会話できる。<br>何かをする・しないと言うときに，その理由を説明することができる。<br>b: 事柄や話題について，内容を整理し，不定詞を用いて伝えたり，相手からの質問に答えたりできる。<br>c: モデル会話の人物になりきって，「〜するため」という説明を加えて話すことができる。<br>ペアになって健康のためにしていることについて説明することができる。 | ペア活動<br>スピーキングテスト |
| | | 話すこと（発表） | a: 不定詞を適切に用いて，あるものに説明を加えたり，あることについての目的を説明したり，感情の原因について話すことができる。<br>b:クラスメイトに知ってほしいことを整理して，説明をすることができる。<br>c:クラスメイトに対し，語りかけるように述べることができる。 | ワークシート<br>プレゼンテーション |
| | | 書くこと | a: 不定詞（形容詞用法）を用いてあるものや事の説明を正しく書くことができる。<br>不定詞（副詞用法）を用いて目的についての説明を正しく書くことができる。<br>不定詞（副詞用法）を用いて感情の原因や判断の根拠の説明を正しく書くことができる。<br>b: 不定詞を用いて，健康維持のコツについて書くことができる。<br>c: 学習したことを用いて、原稿を作り練習することができる。 | 定期テスト<br>ワークシート |
| | LESSON 10<br>Our Future Devices あるもの・人によって可能になることについて話す | 聞くこと | a:使役動詞や知覚動詞についての文法知識を理解したうえで、それらを用いた英文を正しく聞き取ることができる。<br>b:使役動詞や知覚動詞を用いた英文を正しく聞き取り、文字に起こしたり、英文に関する質問に答えることができる。<br>c:スピーチや対話から，必要な情報を聞き取ろうとしたり，話し手の意図，概要や要点を把握しようとしたりしている。 | 授業内課題<br>授業内活動 |
| | | 読むこと | a:使役動詞・知覚動詞についての文法知識を理解したうえで、それらを用いた英文の意味理解が正しくできる。<br>b: 使役動詞・知覚動詞を用いた英文を読み、必要な情報や英文のニュアンスなどをつかむことができる。また、英文に関する問いに適 | 授業内課題<br>定期テスト |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 切に答えることができる。<br>c:必要な情報を読み取ろうとしたり，話し手の意図，概要や要点を把握しようとしたりしている。 | |
| | | 話すこと（やりとり） | a: 使役動詞・知覚動詞を適切に用いて，会話できる。<br>誰かにさせる，誰かができるようにすると伝えることができるようにする。<br>b: 事柄や話題について，内容を整理し，使役動詞・知覚動詞を用いて伝えたり，相手からの質問に答えたりできる。<br>c: モデル会話の人物になりきって，誰かにさせる，誰かができるようにすると話すことができる。<br>ペアになってロボット・機器にしてほしいことについて説明することができる。 | ペア活動<br>スピーキングテスト |
| | | 話すこと（発表） | a: 使役動詞・知覚動詞などを適切に用いて,誰かにしてほしいことや誰かにしてもらいたいこと,一部始終を見たり聞いたりするという状況について話すことができる。<br>b:クラスメイトに知ってほしいことを整理して，説明をすることができる。<br>c:クラスメイトに対し，語りかけるように述べることができる。 | ワークシート<br>プレゼンテーション |
| | | 書くこと | a: 〈動詞＋人＋to do〉を用いて正しく書くことができる。<br>使役動詞を用いて許可,依頼，強制の意味を表す英文を正しく書くことができる。<br>知覚動詞を用いて一部始終を見る／聞く／感じるという状況を表した英文を正しく書くことができる。<br>b: 使役動詞・知覚動詞を用いて，夢のロボットについて書くことができる。<br>c: 学習したことを用いて、原稿を作り練習することができる。 | 定期テスト<br>ワークシート |
| | 学年末考査 | | | |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度